

## ☆伊勢市立五十鈴中学校区の取組

### ◆事業概要

#### 1 中学校区の現状と課題

五十鈴中学校区は、3つの小学校から成り立っています。内宮、おはらい町を有し、伊勢市の観光の中心となっている進修小学校、伊勢市中心部に近い市街地の修道小学校、郊外の田園地帯にある四郷小学校です。3つの小学校が、同じ中学校区として連携を一層深め、子どもの学習を支える取組を進めていくことと、地域と連携した教育活動を更に充実させることによって、教育的に不利な立場におかれている子どもをはじめ、全ての子どもたちが、自分の将来に展望を持てるようにすることを目指しました。



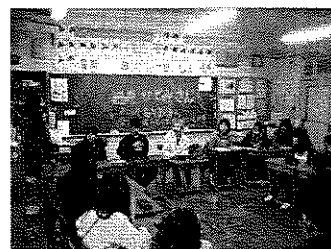
#### 2 課題解決のための主な取組

##### (1) 出会い学習 ～生き方を学ぶ～

###### 「地域の方との出会い」

いきいきサロンに参加している方から話を聞くことで、子どもは次のような感想を持ちました。

「ぼくは今まで別に科学者になるわけでもないから、勉強しなくていいと思っていました。でも、お話を聴いて、『読み・書き・計算』は、職業すべてに関係してくるので、しっかりと勉強していきたいと思いました。『勉強は宝物』この言葉を大切に生きていきます。」

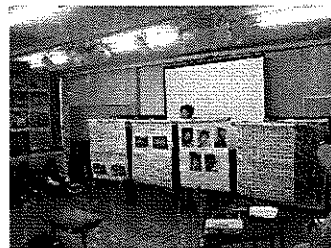


##### (2) 地域行事へ参加

###### 「学んだことを発信する」

地域行事への参加を通して、自分たちの学びを地域へ発信し、地域の人との係わりをさらに深めました。子どもたちは、「地域の人に教えてもらったことをどうしたら発信できるのか」、「地域の方に喜んでもらうためにどんなことを考えていけばいいのか」等を考え、発信しました。

子どもたちにとって、これまでの学習をふり返り、成果を発表できる場となりました。また、当日までの取組の過程で仲間とのつながりも一層強いものになりました。



### ◆実践を振り返って

中学校区で、地域と連携することを通して、子どもの自尊感情が向上しました。今後も教職員一人ひとりが子どもの具体的な姿を見つめ、確かな捉えを共有し、分析したうえで課題を解決していきたいと考えています。

子ども支援ネットワークによって地域の連携が密になり、子どもを見守る範囲が広がりました。また、人生のモデルとなる人との出会いによって、自分の生き方を見つめ、将来に向けての夢や展望を持てるきっかけになりました。